

1. 単元の目標

- 自分の名前やそのスペリング、好きなものや好きではないものについて言う。

2. 言語材料

語句	食べもの	green pepper, strawberry, cherry, apple, banana など
	動物	rabbit, tiger, cat など
	色	red, black など
	スポーツ	soccer, swimming など
表現	Hi, I'm (Sakura). I like (apples). I don't like (bananas). How do you spell your name? — (S-a-k-u-r-a. Sakura).	

3. 単元計画

時	Step Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知技	思判	態度	
1	(8-9)	<p>目標 名刺を作って自己紹介ができるようになる。準備編 好きなものや好きではないものについて言ってみよう。</p> <p>歌 ABC Song Small Talk 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Listen and Do①】 ・3,4年生で学習したことを復習する。 【Chant】 ・名前や好きなもの、好きではないものを言う表現を練習する。 【Listen and Do②】 ・好きなものや好きではないものを聞き取る。 【Chant】 ・自分の名前や好きなもの、好きではないものを言ってみる。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
2	(10-11)	<p>目標 名刺を作って自己紹介ができるようになる。</p> <p>歌 ABC Song Small Talk 【Read and Write】 ・自分の名前をローマ字で書く。 ・名前のスペリングを読んでみる。 【Activity】 ・名刺カードを作る。 【Chant】 ・スペリングを言う練習をする。 【Activity】 ・自己紹介をして名刺を交換する。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、好きな教科や夢の時間割について、聞き取ったり、話したりすることができる。
- アルファベットの活字体の大文字、小文字を識別し、書くことができる。

他教科との関連 算数（アンケート集約）

2. 言語材料

語句	教科	music, science, arts and crafts, Japanese, English, math, P.E, calligraphy, home economics, social studies, moral education
	気持ち	exciting, fun, interesting
	曜日	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday
表現		What subject do you like?—I like (math). It's (fun).
		What do you have on (Monday)?—I have (science) on (Monday).

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 好きな教科やその理由、曜日や時間割を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	<u>好きな教科やその理由について知るために</u> 、それらを含むまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	<u>好きな教科やその理由について知るために</u> 、それらを含むまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 A	好きな教科やその理由、曜日や時間割を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 B	好きな教科やその理由、曜日や時間割を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 好きな教科やその理由、時間割をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達のことを知るために、好きな教科やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達のことを知るために、好きな教科やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> ある曜日の時間割を伝える表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、自分の夢の時間割を伝える技能を身につけている。	○自分のことについて相手に知ってもらうために、自分の夢の時間割について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えを相手に伝えている。	○自分のことについて相手に知ってもらうために、自分の夢の時間割について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z の文字について理解している。 <技能> C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z を識別し、名前読みを発音する技能を身につけている。		
評価基準 A	10割すべてのアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		
評価基準 B	8割以上のアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z の文字について理解している。 <技能> 見本を見ながら、C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z を4線の上に書く技能を身につけている。		
評価基準 A	4線に沿って丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (12-15)	目標 好きな教科をたずね合おう。準備編 教科の名前を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle①】 ・教科の言い方に慣れ親しむ。 【Chant】 ・好きな教科をたずねたり答えたりする表現を練習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (14-15)	目標 好きな教科をたずね合おう。 Small Talk 【Jingle①】 ・教科の名前を復習する。 【Listen and Do】 ・好きな教科を聞き取る。 【Jingle②】 ・特徴を表す(理由を伝える)表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・好きな教科をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・好きな教科をたずね合い、好きな教科ランキングを作る。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (16-17)	目標 時間割を伝えよう。準備編 教科名と曜日の表現に慣れ親しもう。 Small Talk ・教科名や曜日の復習をする。 【Listen and Do①】 ・教科の名前や曜日を聞き取る。 【Jingle】 ・曜日の言い方を復習する。 【Chant】 ・時間割をたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】 ・時間割を自由に作る。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (16-17)	目標 時間割を伝えよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・時間割を聞き取る。 【Jingle①】 ・教科の名前を復習する。 【Chant】 ・時間割をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・作った時間割を伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (18-19)	目標 夢の1日の時間割を作って発表しよう。準備編 ペアで夢の時間割を伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.14-17 ・時間割を伝える表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・夢の時間割を作り、ペアで伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (18-19)	目標 夢の1日の時間割を作って発表しよう。 Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の子どもが学習している教科について話す映像を視聴する。 【Jingle】【Chant】 p.14-17 ・時間割を伝える表現を復習する。 【Activity】 ・自分の夢の時間割を発表する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	*Let's Read and Write 1 (21)	目標 アルファベットの名前を読んだり、書き写したりしよう。 ・アルファベットの読み方を確認する。 ・アルファベットを4線に書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎アルファベット C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z の文字について理解し、識別する技能を身につけている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベット C, c, O, o, S, s, V, v, W, w, X, x, Z, z の文字について理解し、4線に書く技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはつきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 友達が喜んでくれるバースデーカードを作っておくために、誕生日やほしいものなどについて、聞き取ったり、話したりすることができる。
- アルファベットの活字体の大文字、小文字を識別し、書くことができる。

他教科との関連 社会 (外国の行事)

2. 言語材料

語句	月	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December
	日	1st~31st
	ほしいもの	gloves, soccer ball, bag など
表現	When's your birthday? — My birthday is (January 1st). What do you want for your birthday? — I want (gloves).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的(下線部)に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 誕生日やほしいものを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	<u>誕生日やほしいものなどについて知るために、それらを含むまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。</u>	<u>相手の誕生日やほしいものについて知るために、それらを含むまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。</u>
評価基準 A	誕生日やほしいものを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	誕生日やほしいものを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> 誕生日がいつであるかをたずねたり答えたりする表現、ほしい物をたずねたり答えたりする表現などについて理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	◎友達が喜んでくれるバースデーカードを作るために、名前のスペリングや誕生日、ほしいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	◎友達が喜んでくれるバースデーカードを作るために、名前のスペリングや誕生日、ほしいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u の文字について理解している。 <技能> A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u を識別し、名前読みを発音する技能を身につけている。		
評価基準 A	10割すべてのアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		
評価基準 B	8割以上のアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u の文字について理解している。 <技能> 見本を見ながら A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u を4線の上に書く技能を身につけている。		
評価基準 A	4線に沿って丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (22-25)	目標 自分の誕生日を言ってみよう。準備編 月や日にちの言い方を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・月を表す語に慣れ親しむ。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・日にちの言い方に慣れ親しむ。 【Chant】 ・誕生日をたずねたり答えたりする表現を練習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (24-25)	目標 自分の誕生日を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 p.22,24 ・月や日にちの言い方を復習する。 【Listen and Do】 ・誕生日を聞き取る。 【Chant】 ・誕生日をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・誕生日をたずね合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (26-27)	目標 誕生日にほしいものを言ってみよう。準備編 ほしいものを表す表現に慣れ親しもう。 Small Talk 【Listen and Do①】 ・誕生日にほしいものを聞き取る。 【Chant】 ・誕生日にほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Activity】 ・誕生日にほしいものを考えて伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (26-27)	目標 誕生日にほしいものを言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do②】 ・必要な情報を聞き取って、誕生日プレゼントを考える。 【Chant】 ・誕生日にほしいものをたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・誕生日にほしいものをたずね合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (28-29)	目標 友達が喜ぶバースデーカードを作っておくろう。準備編 カードを作るための情報を得よう。 Small Talk 【Watch and Do】 ・たずねたり答えたりするときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Jingle】【Chant】 p.22-27 ・誕生日やほしいものをたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・ペアで、カードを作るための情報をたずね合う。	や	や	や	話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現を理解し、それらを用いて質問したり答えたりする技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしようとしている。〈行動観察〉
6	3 (28-29)	目標 友達が喜ぶバースデーカードを作っておくろう。 【Friends around the World】 ・外国の子供が誕生日について話す映像を視聴する。 Small Talk 【Activity】 ・ペアでやり取りし、バースデーカードを作っておく。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	*Let's Read and Write 2 (31)	目標 アルファベットの名前を読んだり、書き写したりしよう。 ・アルファベットの読み方を確認する。 ・アルファベットを4線に書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎アルファベット A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u の文字について理解し、識別する技能を身につけている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベット A, a, E, e, M, m, N, n, R, r, U, u の文字について理解し、4線に書く技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、1日の生活や家での仕事について、必要な情報を聞き取ったり、話したりすることができる。
- アルファベットの活字体の大文字、小文字を識別し、書くことができる。

他教科との関連 家庭（自分の生活習慣や家での仕事）、算数（時刻）、社会（世界の朝ごはん）

2. 言語材料

語句	日課	get up, eat breakfast, go to school, get home, do my homework, go to bed
	頻度	always, usually, sometimes, never
	家での仕事	set the table, water the flowers, wash the dishes, take out the garbage, clean my room
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ What time do you (get up)? — I (get up) at (7:00). ・ Do you help at home? — Yes, I do.[No, I don't.] ・ I (always) walk the dog. ・ After school (I usually do my homework). Then (I play basketball). 	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 1日の生活や家での仕事、頻度、時刻を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた1日の生活の紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	1日の生活について知るために、それらについてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	1日の生活について知るために、それらについてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	1日の生活、家での仕事を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	1日の生活や家での仕事を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 動作の時刻をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達と互いの生活について理解するために、1日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達と互いの生活について理解するために、1日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 1日の生活や家での仕事を伝える表現について理解している。 ◎<技能> 1日の生活や家での仕事を伝える表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	◎自分のことについて相手に知ってもらうために、1日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えている。	◎自分のことについて相手に知ってもらうために、1日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, lの文字について理解している。 <技能> B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, lを識別し、名前読みを発音する技能を身につけている。		
評価基準 A	10割すべてのアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		
評価基準 B	8割以上のアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, lの文字について理解している。 <技能> 見本を見ながら、B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, lを4線に書く技能を身につけている。		
評価基準 A	4線に沿って丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (32-35)	<p>目標 自分の生活の中で、何時に何をするか言ってみよう。準備編 自分の1日の活動の言い方を知ろう。</p> <p>【Introduction】 ・このUnitで学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・このUnitでできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・日課の表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・何時に何をするかたずねたり答えたりする表現を練習する。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
2	1 (34-35)	<p>目標 自分の生活の中で、何時に何をするか言ってみよう。</p> <p>Small Talk 【Jingle】 ・日課の表現を復習する。 Keyword Game ・数の言い方を復習する。 【Listen and Do】 ・何時に何をするか聞き取る。 【Chant】 ・何時に何をするかたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・何時に何をするかたずね合う。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
3	2 (36-37)	<p>目標 家でどんな仕事をどのくらいしているか言ってみよう。準備編 家での仕事とどのくらいしているかの表現に慣れ親しもう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do①】【Jingle】 ・家での仕事や頻度の表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・家での仕事についてたずねたり答えたりする表現や、どのくらいしているかの表現を練習する。 【Activity】 ・家での仕事について空欄を埋め、次の活動の準備をする。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
4	2 (36-37)	<p>目標 家でどんな仕事をどのくらいしているか言ってみよう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do②】 ・家での仕事とその頻度について聞き取る。 【Jingle】【Chant】 ・家での仕事や頻度の表現を復習する。 【Activity】 ・家での仕事をたずね合う。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (38-39)	<p>目標 自分の1日の過ごし方を伝えよう。準備編 ペアで放課後の過ごし方を伝え合おう。</p> <p>Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.34-37 ・日課、家での仕事、頻度の表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・自分の放課後の過ごし方をペアで伝え合う。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
6	3 (38-39)	<p>目標 自分の1日の過ごし方を伝えよう。</p> <p>Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の子どもが自分の1日の過ごし方を紹介する映像を視聴する。 【Jingle】【Chant】 p.34-37 ・日課、家での仕事、頻度の表現を復習する。 【Activity】 ・自分の放課後の過ごし方をペアやグループ内で発表する。</p>				<p>話すこと〔発表〕の記録に残す評価 ㊦学習した語句や表現について理解し、それらを用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 ㊧目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ㊨目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉</p>
7	*Let's Read and Write 3 (41)	<p>目標 アルファベットの名前を読んだり、書き写したりしよう。</p> <p>・アルファベットの読み方を確認する。 ・アルファベットを4線に書く。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用してActivityに余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
㊦学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
㊧目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
㊦アルファベット B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, l の文字について理解し、識別する技能を身につけている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
㊦アルファベット B, b, D, d, F, f, H, h, K, k, L, l の文字について理解し、4線に書く技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要をとらえることができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って Unit 1~3 で学んだ語句や表現を聞き取ったり話したりすることができる。

2. 言語材料

Unit 1

語句	教科	music, science, arts and crafts, Japanese, English, math, P.E, calligraphy, home economics, social studies, moral education
	気持ち	exciting, fun, interesting
	曜日	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday
表現		What subject do you like? — I like (math). It's (fun). What do you have on (Monday)? — I have (science) on (Monday).

Unit 2

語句	月	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December
	日	1st~31st
	ほしいもの	gloves, soccer ball, bag など
表現		When's your birthday? — My birthday is (January 1st). What do you want for your birthday? — I want (gloves).

Unit 3

語句	日課	get up, eat breakfast, go to school, get home, do my homework, go to bed
	頻度	always, usually, sometimes, never
	家での仕事	set the table, water the flowers, wash the dishes, take out the garbage, clean my room
表現		・ What time do you (get up)? — I (get up) at (7:00). ・ Do you help at home? — Yes, I do.[No, I don't.] ・ I (always) walk the dog. ・ After school (I usually do my homework). Then (I play basketball).

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎Jake の言ったことに応じて話すために、必要な情報を聞き取っている。	◎Jake の言ったことに応じて話すために、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準 B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いて、自分のことを伝える技能を身につけている。	◎Jake の話に応じた内容を、Jake (外国人) にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	◎Jake の話に応じた内容を、Jake (外国人) にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知技	思判	態度	評価の観点〈評価方法〉
1	(42)	目標 外国の人に、自分の学校や生活について話そう。準備編 Small Talk ・ Unit 1~3 で学んだ表現を使う。 【Jingle】【Chant】(Unit 1-3) ・ Unit 1~3 で学んだ語句や表現を復習する。 【Try】 1 ・ Jake の話を聞いて、わかったことをメモする。 【Try】 2 ・ Jake の話に対して、自分は何を紹介すべきか考えて話す。	聞	聞	聞	聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取るようとしている。〈記述分析〉
2	(42-43)	目標 外国の人に、自分の学校や生活について話そう。 Small Talk ・ Challenge への導入。 【Try】 2 ・ より良い伝え方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・ 質問に答える。	発	発	発	話すこと [発表] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現を用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知るために、できることやできないことについて聞き取ったり、話したりすることができる。
- アルファベットの活字体の大文字、小文字を識別し、書くことができる。

他教科との関連 理科（動物の特徴）、道徳（個性の伸長、相互理解）、音楽（いろいろな楽器）

2. 言語材料

語句	動作	swim, run fast, skate, ski, ride a unicycle, play volleyball [shogi, the piano], cook, dance, sing well, speak English, fly, jump, sleep
	楽器	piano, recorder, melodica, guitar
表現	Can you (run fast)? -Yes, I can. I can (run fast). / No, I can't. I can't (run fast). This is (Aya). (She) can't (play the guitar). (She) can (sing well).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> できることやできないことを表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	他者について理解するために、できることやできないことについてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	他者について理解するために、できることやできないことについてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	できることやできないことを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	できることやできないことを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> できることについてたずねたり答えたりする表現について理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	◎友達と、互いについて理解し合うために、できることやできないことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	◎友達と、互いについて理解し合うために、できることやできないことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	○<知識> できることを伝える表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、自分や他者のことを伝える技能を身につけている。	○自分が得た友達の情報を他の友達にも知ってもらうために、できることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて他者のことを相手に伝えている。	○自分が得た友達の情報を他の友達にも知ってもらうために、できることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて他者のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y の文字について理解している。 <技能> I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y を識別し、名前読みを発音する技能を身につけている。		
評価基準 A	10割すべてのアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		
評価基準 B	8割以上のアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y の文字について理解している。 <技能> 見本を見ながら、I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y を4線上に書く技能を身につけている。		
評価基準 A	4線に沿って丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (46-49)	目標 できることをたずね合おう。準備編 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・動作を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・できるかどうかをたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】 ・友達にできるかどうかたずねたいことを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (48-49)	目標 できることをたずね合おう。 Small Talk 【Jingle】 ・動作を表す語句を復習する。 【Listen and Do】 ・できることやできないことを聞き取る。 【Chant】 ・できるかどうかをたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・いろいろなことについて、できるかどうかを友達とたずね合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (50-51)	目標 友達のできることを言ってみよう。準備編 友達のできることを伝える表現を知ろう Small Talk 【Listen and Do①】 ・できることを聞き取る。 【Jingle】 p.48【Chant】 ・他者のできることやできないことを紹介する語句や表現を練習する。 【Activity】 ・友達のできることを別の友達に伝える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (50-51)	目標 友達のできることを言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 p.48 ・動作を表す語句を復習する。 【Listen and Do②】 ・できることやできないことを聞き取る。 【Chant】 ・他者のできることやできないことを紹介する表現を復習する。 【Activity】 ・友達のできることを紹介する。 ・自分が話した内容を書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (52-53)	目標 だれが何をできるのかを伝えよう。準備編 楽器を演奏できるかどうかたずね合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.48-51 ・できることをたずね合う表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ① ・グループで各楽器が演奏できるかどうかたずね合う。	や	や	や	話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いて質問したり答えたりする技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って、質問したり答えたりしようとしている。〈行動観察〉
6	3 (52-53)	目標 だれが何をできるのかを伝えよう。 Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の子どもが、できることを紹介する映像を視聴する。 【Chant】 p.49, 51 ・できることやできないことを言う表現を復習する。 【Activity】 ② ・①でわかったことを報告する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
7	*Let's Read and Write 4 (55)	目標 アルファベットの名前を読んだり、書き写したりしよう。 ・アルファベットの読み方を確認する。 ・アルファベットを4線に書く。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
 ◎アルファベット I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y の文字について理解し、識別する技能を身につけている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベット I, i, T, t, G, g, J, j, P, p, Q, q, Y, y の文字について理解し、4線に書く技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

1. 単元の目標

- 相手の好きな人物について知ったり、自分の好きな人物について知ってもらったりするために、得意なことや特徴などについて聞き取ったり、話したりすることができる。
- アルファベットの活字体の大文字、小文字を識別し、名前読みを発音することができる。

他教科との関連 道徳（個性の伸長、相互理解）

2. 言語材料

語句	人	grandparents, grandmother, grandfather, parents, mother, father, sister, brother, me, aunt, uncle, cousin
	特徴	cheerful, funny, kind, brave, smart, strong, friendly, cool, cute
	得意なこと	playing soccer[volleyball, the guitar], singing, dancing, swimming, skiing, skating, cooking, running
表現	Who's this? - This is my (mother). (She's) (kind). (Riku), are you good at (cooking)? - (Yes, I am). (Riku is) good at (cooking).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 家族のメンバーや得意なこと、特徴を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた他者の紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	友達好きな人物について理解するために、その人を紹介するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	友達好きな人物について理解するために、その人を紹介するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	人の特徴や得意なことを表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	人の特徴や得意なことを表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 得意なことをたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達と、互いについて理解し合うために、得意なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達と、互いについて理解し合うために、得意なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 得意なことや特徴を伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて、自分の身近な人のことを相手に伝える技能を身につけている。	◎自分の大切にしている人について相手に知ってもらうために、得意なことや特徴などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて他者のことを相手に伝えている。	◎自分の大切にしている人について相手に知ってもらうために、得意なことや特徴などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて他者のことを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> アルファベットの文字について理解している。 <技能> アルファベットを識別し、その名前読みを発音する技能を身につけている。		
評価基準 A	すべてのアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		
評価基準 B	8割以上のアルファベットを識別し、正しく名前読みできている。		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> アルファベットの文字について理解している。 <技能> 特徴や得意なことを表す語句を書き写すことができる。		
評価基準 A	4線にそって丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (56-59)	<p>目標 身近な人について、自分との関係やとくちょうを言ってみよう。準備編 自分との関係や特徴を表す語句を知ろう。</p> <p>【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。</p> <p>【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。</p> <p>【Words and Phrases】【Jingle①②】 ・関係や人の特徴を表す語句に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 ・他者について、自分との関係やその人の特徴を紹介する表現を練習する。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
2	1 (58-59)	<p>目標 身近な人について、自分との関係やとくちょうを言ってみよう。</p> <p>Small Talk 【Jingle①②】 ・関係や人の特徴を表す語句を復習する。</p> <p>【Listen and Do】 ・紹介される人の特徴を聞き取る。</p> <p>【Chant】 ・他者について、自分との関係やその人の特徴を紹介する表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・自分の身近な人を紹介する。 ・紹介した内容を書く。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
3	2 (60-61)	<p>目標 身近な人の得意なことを言ってみよう。準備編 得意なことを言う表現を知ろう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do①】 ・得意なことを聞き取る。</p> <p>【Chant】 ・得意かどうかをたずねたり答えたりする表現を練習する。</p> <p>【Activity】 ・得意かどうか友達にたずねたいことを考える。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
4	2 (60-61)	<p>目標 身近な人の得意なことを言ってみよう。</p> <p>Small Talk 【Listen and Do②】 ・得意なことを聞き取る。</p> <p>【Chant】 ・得意かどうかをたずねたり答えたりする表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・友達と得意なことをたずね合う。 ・友達の得意なことを言って、書く。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (62-63)	<p>目標 自分の好きな人物を紹介しよう。準備編 ペアで自分の好きな人物を伝え合おう。</p> <p>Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.58-61 ・他者について紹介する表現を復習する。</p> <p>【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。</p> <p>【Activity】 ・だれを紹介するか、どんなことを紹介するかを考えて、ペアで伝え合う。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>
6	3 (62-63)	<p>目標 自分の好きな人物を紹介しよう。</p> <p>Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の子どもが好きな人物を紹介する映像を視聴する。</p> <p>【Jingle】【Chant】 p.58-61 ・他者について紹介する表現を復習する。</p> <p>【Activity】 ・自分の好きな人物をグループ内で発表し合う。</p>				<p>話すこと【発表】の記録に残す評価 ㊤学習した語句や表現について理解し、それらを用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 ㊤目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ㊤目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉</p>
7	*Let's Read and Write 5 (65)	<p>目標 アルファベットの名前を読んだり、書き写したりしよう。</p> <p>Half and Half Quiz ・アルファベットの形を復習する。</p> <p>【1】 ・音声を聞いて、最初の音が違う単語を選ぶ。</p> <p>【2】 ・身の回りのアルファベットを探して書き写す。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。</p>

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
㊤学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
㊤目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

読むことの記録に残す評価
㊤アルファベットの文字について理解し、識別する技能を身につけている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
㊤アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

1. 単元の目標

- レストランなどの飲食店で、食べたいものを注文することができる。また、他者のことを考えて、オリジナルメニューを提案することができる。
- 音声で十分慣れ親しんだ語を書き写すことができる。

他教科との関連 家庭科（オリジナルメニュー）、社会科（世界の料理）、算数（金額の計算）

2. 言語材料

語句	食べもの・飲み物	curry and rice, spaghetti, pizza, steak, fried chicken, omelet, hot dog, hamburger, grilled fish, French fries, bread, rice, salad, corn soup, <i>miso</i> soup, tea, coffee, mineral water, orange juice, soda, cake, ice cream, parfait, pudding, yogurt
	4桁までの金額	one thousand five hundred yen two thousand four hundred and fifty yen など
	味・特徴	sour, bitter, hot, salty, sweet, healthy, delicious
表現	What would you like? – I'd like (pizza). How much is it? – It's (six hundred) yen. This is (<i>manju</i>). It's (sweet) and (delicious). I like it.	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 食べたいものや味、金額を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	様々なメニューの中から自分が食べたいものを選ぶために、メニューの説明を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	様々なメニューの中から自分が食べたいものを選ぶために、メニューの説明を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	食べたいものや味、金額を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	食べたいものや味、金額を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 飲食店で注文したり、金額をたずねたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて質問したり、答えたりする技能を身につけている。	○飲食店で食べたいものを注文するために、簡単な語句や基本的な表現を用い質問したり、答えたりしている。	○飲食店で食べたいものを注文するために、簡単な語句や基本的な表現を用い質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> メニューの内容や金額を伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて、自分の考えを伝える技能を身につけている。	◎食べる人のことを考えたオリジナルメニューをアピールするために、メニューの内容について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えを相手に伝えている。	◎食べる人のことを考えたオリジナルメニューをアピールするために、メニューの内容について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えを相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	◎<知識> アルファベットの文字について理解している。 ◎<技能> 食べものの名前や特徴を表す語句を書き写すことができる。		
評価基準 A	4線にそって丁寧に書き写すことができている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すことができている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (66-69)	目標 料理の注文をしたり、金額をたずねたりしよう。準備編 料理の注文をしたり、金額をたずねる表現を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】【Jingle】 ・料理の名前や金額を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・注文するときの表現を練習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (68-69)	目標 料理の注文をしたり、金額をたずねたりしよう。 Small Talk 【Jingle】 ・料理の名前を表す語句を復習する。 【Listen and Do】 ・注文を聞き取る。 【Chant】 ・注文するときの表現を復習する。 【Activity】 ・飲食店のロールプレイをする。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (70-71)	目標 食べものの味や特徴を言ってみよう。準備編 食べものの味や特徴を言う表現を知ろう。 Small Talk 【Jingle】 ・味や特徴を表す語句に慣れ親しむ。 【Listen and Do①】 ・食べものの味や特徴を聞き取る。 【Chant】 ・食べものを紹介する表現を練習する。 【Activity】 ・外国の人に紹介したい食べものを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (70-71)	目標 食べものの味や特徴を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・味や特徴を表す語句を復習する。 【Listen and Do②】 ・食べものの味や特徴を聞き取る。 【Chant】 ・食べものを紹介する表現を復習する。 【Activity】 ・自分の地域や日本の食べものを外国の人に紹介する。 ・紹介した食べものの味や特徴を書く。				書くことの記録に残す評価 ◎アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。 〈記述分析〉

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (72-73)	目標 オリジナルメニューを考えて提案しよう。準備編 オリジナルメニューを考えよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.68-71 ・料理を紹介する語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Activity】 ・オリジナルランチメニューを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (72-73)	目標 オリジナルメニューを考えて提案しよう。 Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の子どもが自国の食事を紹介する映像を視聴する。 【Jingle】【Chant】 p.68-71 ・料理を紹介する語句や表現を復習する。 【Activity】 ・オリジナルランチメニューを提案する。				話すこと [発表] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉
7	*Let's Read and Write 6 (75)	目標 アルファベットの音と文字との関係に気づこう。 【1】 ・Alphabet Jingle (p.4-5) を聞き、リズムに合わせて発話する。 【2】 ・音声を聞いてくり返す。 伝言ゲーム ・2の①～⑤の単語のどちらかを伝言する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。 ワークシート ・これまで教科書で学習したものの中で、p など、このページで学習した文字で始まる単語を探し、書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要をとらえることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って、Unit 4～6 で学んだ語句や表現を聞き取ったり話したりすることができる。

2. 言語材料

Unit 4

語句	動作	swim, run fast, skate, ski, ride a unicycle, play volleyball [<i>shogi</i> , the piano], cook, dance, sing well, speak English, fly, jump, sleep
	楽器	piano, recorder, melodica, guitar
表現		Can you (run fast)? — Yes, I can. I can (run fast). / No, I can't. I can't (run fast). This is (Aya). (She) can't (play the guitar). (She) can (sing well).

Unit 5

語句	人	grandparents, grandmother, grandfather, parents, mother, father, sister, brother, me, aunt, uncle, cousin
	特徴	cheerful, funny, kind, brave, smart, strong, friendly, cool, cute
	得意なこと	playing soccer[volleyball, the guitar], singing, dancing, swimming, skiing, skating, cooking, running
表現		Who's this? — This is my (mother). (She's) (kind). (Riku), are you good at (cooking)? — (Yes, I am). (Riku is) good at (cooking).

(Unit 6)

語句	食べもの・飲み物	curry and rice, spaghetti, pizza, steak, fried chicken, omelet, hot dog, hamburger, grilled fish, French fries, bread, rice, salad, corn soup, <i>miso</i> soup, tea, coffee, mineral water, orange juice, soda, cake, ice cream, parfait, pudding, yogurt
	4桁までの金額	one thousand five hundred yen two thousand four hundred and fifty yen など
	味・特徴	sour, bitter, hot, salty, sweet, healthy, delicious
表現		What would you like? — I'd like (pizza). How much is it? — It's (six hundred) yen. This is (<i>manju</i>). It's (sweet) and (delicious). I like it.

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎Miaの発表を参考にするために、必要な情報を聞き取っている。	◎Miaの発表を参考にするために、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取るようとしている。
評価基準B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取るようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いて、自分以外のことについて話す技能を身につけている。	◎自分が考えたオリジナルロボットの魅力を聞き手にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	◎自分が考えたオリジナルロボットの魅力を聞き手にわかりやすく伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。
評価基準A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	(76)	目標 クラスメートに、自分が考えたオリジナルロボットについて、その魅力が伝わるように話そう。準備編				聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取るようとしている。〈記述分析〉
		Small Talk ・Unit 4～6 で学んだ表現を使う。 【Jingle】【Chant】(Unit 4-6) ・Unit 4～6 で学んだ語句や表現を復習する。 【Try】 1 ・Mia の発表を聞いて、わかったことをメモする。 【Try】 2 ・自分もオリジナルロボットを考えて発表する。	聞	聞	聞	
2	(76-77)	目標 クラスメートに、自分が考えたオリジナルロボットについて、その魅力が伝わるように話そう。				話すこと [発表] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉
		Small Talk ・Challenge への導入。 【Try】 2 ・より良い伝え方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・質問に答える。	発	発	発	

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

1. 単元の目標

- 探している物を見つけるために、物の位置や場所を聞き取ったりたずねたりすることができる。また、困っている人を助けるために、探しているものの場所を案内することができる。

他教科との関連 社会科（地図記号）、プログラミング（指示の仕方）

2. 言語材料

語句	位置関係	on, under, by, in, across from, next to, between A and B, on your right, on your left
	建物や店	elementary school, fire station, restaurant, gas station, hotel, supermarket, convenience store, post office, coffee shop, police station, bank, library, cake shop, department store, museum, hospital, park, zoo, book store, flower shop,
	方向	go straight, turn right, turn left
表現	Where's (the dog)? — It's (on the chair). (The dog) is (on the chair). Where's (the park)? — It's (next to the zoo). Go straight. Turn (left) at (the park). It's (on your right).	

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総合的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 場所や方向、建物を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた説明を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	探しているものの位置や場所を把握するために、それらを説明するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	探しているものの位置や場所を把握するために、それらを説明するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	場所を表す語句や表現、道案内の表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	場所を表す語句や表現、道案内の表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> 場所をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて質問したり、答えたりする技能を身につけている。	◎相手が目的地にたどり着くために、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしている。	◎相手が目的地にたどり着くために、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫してやり取りしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫してやり取りしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿ってやり取りしている。	目的に沿ってやり取りしようとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (78-81)	目標 ものの位置を言ってみよう。準備編 位置や場所を表す語を知ろう。 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Words and Phrases】 ・位置や場所を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・位置や場所をたずねたり答えたりする表現を練習する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (80-81)	目標 ものの位置を言ってみよう。 Small Talk 【Listen and Do】 ・位置や場所を聞き取る。 【Chant】 ・位置や場所をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・ものの位置や場所をたずね合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
3	2 (82-83)	目標 建物や店の場所を言ってみよう。準備編 建物や店の名前、位置・方向を表す語句を知ろう。 Small Talk 【Words and Phrases】【Jingle】 ・建物や店、位置を表す語句に慣れ親しむ。 【Chant】 ・建物や店の場所をたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】 ・家の場所をたずねたり答えたりする。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (82-83)	目標 建物や店の場所を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 ・建物や店、位置を表す語句を復習する。 【Listen and Do】 ・探している店が地図上のどこにあるか見つける。 【Chant】 ・建物や店の場所をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・家の場所をたずねたり答えたりする。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (84-85)	目標 自分の家までの道案内をしよう。準備編 道順を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.82-83 ・道案内の表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像に合わせてセリフを言う。 【Jingle】 p.84 ・道案内の語句を練習する。 【Activity】 ・道案内する方法を考えて言ってみる。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (84-85)	目標 自分の家までの道案内をしよう。 Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の学校の先生が校内を紹介する映像を視聴する。 【Jingle】【Chant】 p.82-84 ・道案内に必要な表現を復習する。 【Activity】 ・学校から自分の家までの最短ルートを案内する。	や	や	や	話すこと〔やり取り〕の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いてやり取りする技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿ってやり取りしている。〈行動観察〉 ◎目的に沿ってやり取りしようとしている。〈行動観察〉
7	*Let's Read and Write 7 (87)	目標 アルファベットの音と文字との関係に気づこう。 【1】 ・Alphabet Jingle (p.4-5) を聞き、リズムに合わせて発話する。 【2】 ・音声を聞いてくり返す。 伝言ゲーム ・2の①～⑤の単語のどちらかを伝言する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。 ワークシート ・これまで教科書で学習したものの中で、f など、このページで学習した文字で始まる単語を探し、書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

1. 単元の目標

- 友達に、自分も行ってみたいと思ってもらえるように、行ってみたい国について紹介することができる。
- 音声で十分慣れ親しんだ語句を書き写すことができる。

他教科との関連 社会科（世界の国々）

2. 言語材料

語句	国	the UK, Spain, France, Russia, Italy, Egypt, Kenya, India, Singapore, China, Korea, Australia, New Zealand, Brazil, the USA, Canada
	動作	visit, buy, see, eat, drink, watch
表現		Where do you want to go? — I want to go to (Italy). Let's go to (Italy)! We can (eat pizza). — (Yes, let's.)

3. 単元の評価規準例

- ◎と○は指導計画に取り上げた項目。◎は記録に残す総括的評価の対象、○は形成的評価の対象で記録に残す評価は行わないが、特筆すべき点があれば評価の対象とする。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。
- 「読むこと」「書くこと」は単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○<知識> 行きたい国やその理由を表す語句や表現について理解している。 ○<技能> 上記を用いた話を聞いて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	いろいろな国について知るために、他者の行きたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	いろいろな国について知るために、他者の行きたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	行きたい国やその理由を表す語句や表現を聞いて、8割以上理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	行きたい国やその理由を表す語句や表現を聞いて、6割以上理解できている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を、イラストなどを手がかりにして聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	○<知識> 行きたい国やその理由をたずねたり答えたりする表現について理解している。 ○<技能> 上記の表現を用いて、相手に質問したり、自分のことを答えたりする技能を身につけている。	○友達と、互いの行きたい国やその国の情報を知るために、行きたい国やその理由について簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしている。	○友達と、互いの行きたい国やその国の情報を知るために、行きたい国やその理由について簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝え合うことができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して質問したり、答えたりしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝え合うことができている。	目的に沿って質問したり、答えたりしている。	目的に沿って質問したり、答えたりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	◎<知識> 行きたい国やその理由を伝える表現について理解している。 ◎<技能> 上記の表現を用いて、自分の行きたい国について伝える技能を身につけている。	◎自分の行きたい国に相手を誘うために、行きたい国やその魅力について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の意見を相手に伝えている。	◎自分の行きたい国に相手を誘うために、行きたい国やその魅力について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の意見を相手に伝えようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いて伝えることができている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話している。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫して話そうとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、伝えることができている。	目的に沿った内容を話している。	目的に沿った内容を話そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	◎<知識> アルファベットの文字について理解している。 ◎<技能> 国名を表す語句を書き写すことができる。		
評価基準 A	4 線にそって丁寧に書き写すできている。		
評価基準 B	形はやや崩れるが、同じ文字を書き写すできている。		

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	扉～1 (88-93)	目標 行ってみたい国を言ってみよう。準備編 【Introduction】 ・この Unit で学ぶ語句・表現に触れる。 【Watch the Scene】 ・この Unit でできるようになることを意識させる。 【Jingle】 ・国名を表す語句に慣れ親しむ。 【Listen and Do①】 ・行ってみたい国を聞き取る。 【Chant】 ・行ってみたい国をたずねたり答えたりする表現を練習する。 【Activity】 ・行ってみたい国を考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
2	1 (92-93)	目標 行ってみたい国を言ってみよう。 Small Talk 【Jingle】 p.88 ・国名を表す語句を復習する。 【Listen and Do②】 ・行ってみたい国を聞き取る。 【Chant】 ・行ってみたい国をたずねたり答えたりする表現を復習する。 【Activity】 ・行ってみたい国を伝え合う。 ・行ってみたい国を書き写す。				書くことの記録に残す評価 ◎アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。 〈記述分析〉
3	2 (94-95)	目標 行ってみたい国や、そこでできることを伝えよう。準備編 外国でできることを言う表現を知ろう。 Small Talk 【Words and Phrases】【Jingle】 ・外国でできることを言う語句や表現に慣れ親しむ。 【Chant】 ・行ってみたい国に誘う表現を練習する。 【Activity】 ・行ってみたい国とそこでできることを考える。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
4	2 (94-95)	目標 行ってみたい国や、そこでできることを伝えよう。 Small Talk 【Listen and Do】 ・行ってみたい国やそこでできることを聞き取る。 【Chant】 ・行ってみたい国に誘う表現を復習する。 【Activity】 ・行ってみたい国やそこでできることを伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

時	Step (ページ)	目標・活動	評 価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
5	3 (96-97)	目標 自分の行ってみたい国に友達を誘おう。準備編 ペアで自分の行ってみたい国を伝え合おう。 Small Talk 【Jingle】【Chant】 p.94-95 ・行ってみたい国に誘うために必要な語句や表現を復習する。 【Watch and Do】 ・伝えるときの工夫を考える。 ・映像を見ながらセリフを言う。 【Activity】 ・行ってみたい国とそこでできることをペアで伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。
6	3 (96-97)	目標 自分の行ってみたい国に友達を誘おう。 Small Talk 【Friends around the World】 ・外国の人が自国の魅力を紹介する映像を視聴する。 【Jingle】【Chant】 p.94-95 ・行ってみたい国に誘うために必要な語句や表現を復習する。 【Activity】 ・友達にも行ってみたいと思ってもらえるように工夫して、行きたい国に友達を誘ってみる。			発	話すこと〔発表〕の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いて伝える技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えている。〈行動観察〉 ◎目的に沿って伝えようとしている。〈行動観察〉
7	*Let's Read and Write 8 (99)	目標 アルファベットの音と文字との関係に気づこう。 【1】 ・Alphabet Jingle (p.4-5) を聞き、リズムに合わせて発話する。 【2】 ・音声を聞いてくり返す。 伝言ゲーム ・2の①～⑤の単語のどちらかを伝言する。 【3】 ・音声を聞いて、読まれた方を選ぶ。 ・文字をなぞる。 ワークシート ・これまで教科書で学習したものの中で、z など、このページで学習した文字で始まる単語を探し、書き写す。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。

※ Let's Read and Write を帯活動として1～6時間目に担当することで、7時間目を利用して Activity に余裕を持たせて取り組んだり、評価テストを行ったりすることもできます。評価テストを行う場合、「聞くこと」「書くこと」の記録に残す評価はそのテストで行うこともできます。

聞くことの記録に残す評価
 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈評価テスト〉
 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈評価テスト〉

書くことの記録に残す評価
 ◎アルファベットの文字について理解し、語句を書き写す技能を身につけている。〈評価テスト〉

関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要をとらえることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

1. 単元の目標

目的に沿って、Unit 7,8 で学んだ語句や表現を聞き取ったり話したりすることができる。

2. 言語材料

Unit 7

語句	位置関係	on, under, by, in, across from, next to, between A and B, on your right, on your left
	建物や店	elementary school, fire station, restaurant, gas station, hotel, supermarket, convenience store, post office, coffee shop, police station, bank, library, cake shop, department store, museum, hospital, park, zoo, book store, flower shop,
	方向	go straight, turn right, turn left
表現	Where's (the dog)? — It's (on the chair). (The dog) is (on the chair). Where's (the park)? — It's (next to the zoo). Go straight. Turn (left) at (the park). It's (on your right).	

Unit 8

語句	国	the UK, Spain, France, Russia, Italy, Egypt, Kenya, India, Singapore, China, Korea, Australia, New Zealand, Brazil, the USA, Canada
	動作	visit, buy, see, eat, drink, watch
表現	Where do you want to go? — I want to go to (Italy). Let's go to (Italy)! We can (eat pizza). — (Yes, let's.)	

3. 単元の評価規準例

- ◎は記録に残す総括的評価の対象。
- 言語活動の目的（下線部）に関しては、各学校の実態に応じて変えてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	◎<知識> これまでに学習した語句や表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した語句や表現を聞いて具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	◎話し手の要望に応じて道案内するために、必要な情報を聞き取っている。	◎話し手の要望に応じて道案内するために、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 A	これまでに学習した語句や表現を聞いて、正しく理解できている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、内容を整理しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。
評価基準 B	これまでに学習した語句や表現を聞いて、おおむね正しく理解できている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取っている。	目的に沿って、必要な情報を聞き取ろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	◎<知識> これまでに学習した表現について理解している。 ◎<技能> これまでに学習した表現を用いてやり取りする技能を身につけている。	◎話し手の要望に応じるために、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしている。	◎話し手の要望に応じるために、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしようとしている。
評価基準 A	正確な文や単語を用いてやり取りすることができる。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫してやり取りしている。	目的に沿って、相手に伝わるように工夫してやり取りしようとしている。
評価基準 B	少々誤りはあるが、やり取りすることができる。	目的に沿って、やり取りしている。	目的に沿って、やり取りしようとしている。

4. 単元計画

時	Step (ページ)	目標・活動	評価			
			知 技	思 判	態 度	評価の観点〈評価方法〉
1	(100)	目標 町で出会った人の要望に応じて道案内しよう。準備編 Small Talk ・Unit 7,8 で学んだ表現を使う。 【Jingle】【Chant】(Unit 7,8) ・Unit 7,8 で学んだ語句や表現を復習する。 【Try】 1 ・話を聞いて、わかったことをメモする。 【Try】 2 ・話を聞いて、希望に応じた場所へ道案内をする。				聞くことの記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、聞き取る技能を身につけている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取っている。〈記述分析〉 ◎目的に沿って必要な情報を聞き取ろうとしている。〈記述分析〉
2	(100-101)	目標 町で出会った人の要望に応じて道案内しよう。 Small Talk ・Challenge への導入。 【Try】 2 ・より良い伝え方を考え、もう一度話す。 【Challenge】 ・質問に答える。				話すこと [やり取り] の記録に残す評価 ◎学習した語句や表現について理解し、それらを用いてやり取りする技能を身につけている。〈行動観察〉 ◎場面に応じて質問に答えている。〈行動観察〉〈記述分析〉 ◎場面に応じて質問に答えようとしている。〈行動観察〉〈記述分析〉